

愛媛県人会創立60周年式典

人材交流で日伯をつなぐ

伯国に縁ある中村知事らが来伯

ブラジル愛媛県人会（西村定栄会長）は、10日午前10時よりサンパウロ市ビラ・マリアーナ区の北海道協会会館で創立60周年記念式典を開催した。母県から中村知事（53）や井上善一愛媛県海外協会会長（68）ら35人の慶祝団が出席し、節目の年を祝福した。また式典の前日にはイビラプエラ公園内開拓先亡者慰霊碑の参拝、献花が行われ、西村会長と慶祝団一行は先人たちに静かな祈りを捧げた。



記念ケーキに入刀する西村会長と中村知事（左から）



祝賀の様子



中村知事の祝辞に耳を傾ける来賓

9日午前8時、開拓先亡者慰霊碑前では中村知事と竹田祥一愛媛県議会議長（78）の献花後、1分間の黙とうが捧げられた。慶祝団一行は県連の本橋幹久副会長と木原好規理事の移民の歴史についての説明に耳を傾け、一人ずつ慰霊碑前まで手を合わせた。

父親と伯父が移民として来伯し、当日いごを含め20人以上の在伯親族と夕食を共にした中村知事は「ブラジルには深い縁がある。3度目の来伯だが、また戻ってきたという感覚」と話し、初来伯の竹田議長は「歴史を自分の目で確かめに来られてよかった」と語った。

10日午前10時過ぎ、350人の来場者を集めた周年式典が幕を開けた。県人先亡者への黙とう、伯日国歌斉唱に続いて西村会長は「愛媛を愛する先人たちが築いた県人会を、会員同士のきずなと関係各位の支援、指導

により守ってこられた」とあいさつした。祝辞は、最初に慶祝団を代表して中村知事、竹田議長、井上会長が述べた。中村知事は前日に訪問したという移民史料館で「長い歴史の足跡と並大抵でない1世の苦勞を感じ

た」と同県人会を代表して先人たちに敬意を示し、母県の特産物や観光名所も紹介。「愛媛県の発展をぜひ実感したい」と語り、母県とブラジルの文化交流を呼びかけた。

来賓による祝辞の中、本橋副会長は「ブラジルの発展に貢献している県人会の功績を高く評価し、安部副連理や理事、役員がブラジル側の来賓を代表して祝辞を述べた。式典では、功労者や高齢者の表彰、県人会と母県・海外協会の記念品の交換、安部議員から西村会長への感謝状授与、井上会長から県人会への祝いの金贈呈、母県から日系コリアン三団体への功勞金贈呈などが行われた。その中で母県からは、船で移民して来伯した先人に思いを込めたとい

う、四国中央市の伝統工芸水引細工で作られた船が贈られた。その後、費留費留代表があいさつと記念ケーキカット、万歳三唱が行われ、2時間半の式典は幕を閉じた。

来賓による祝辞の中、本橋副会長は「ブラジルの発展に貢献している県人会の功績を高く評価し、安部副連理や理事、役員がブラジル側の来賓を代表して祝辞を述べた。式典では、功労者や高齢者の表彰、県人会と母県・海外協会の記念品の交換、安部議員から西村会長への感謝状授与、井上会長から県人会への祝いの金贈呈、母県から日系コリアン三団体への功勞金贈呈などが行われた。その中で母県からは、船で移民して来伯した先人に思いを込めたとい

また中村知事は「県人会が母県に果たす役割について、人的交流や経済交流で県人会が間に入ってくると安心感が生まれる」と語り、現地民間企業もまた県人会に期待するところは大いである。式典内でも紹介を受けたブラジル初の愛媛の企業ミウラポライド、ブラジルの渡邊力社長（46）は「人と人とのつながりや口コミがビジネスの発展に重要な役割を果たしている」と話した。

式典終了後には記念午餐会が開かれ、サンパ



祝辞

愛媛県知事 中村 時広

在伯愛媛県人会創立60周年記念式典が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。ブラジルに移住され

た皆様方におかれましては、言葉や風土に大きな違いがある異郷の地で想像を絶する幾多の試練と困難を乗り越え、たゆまぬご尽力を重ねられた結果、今日のブラジル社会において確固たる地位を築き上げ、次世代の方々に着実に引き継いでおられます。そして、移住された愛媛県人の心よりどこ

ろとして結成された在伯愛媛県人会がこのたび創立60周年という記念すべき節目を迎えられましたことは誠に同慶の至りであり、長年にわたる皆様方のご苦労とご努力に對しまして、深く敬意を表します。

さて、私は在伯県人会創立記念式典に松山市長として2度出席させていただいております。また、ブラジルには父親が在任していたことも、皆様方のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。

ごさいますが、私にとりましては、今後とも、ブラジルと愛媛県を結ぶ懸け橋として友好親善に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、ブラジル連邦共和国及び日系社会のますますのご繁栄と、在伯愛媛県人会の限りのご発展並びに会員の皆様方のご健康、ご多幸を祈念申し上げます。

安部議員（左から3番目）から西村会長へ感謝状授与

あいさつ
在伯愛媛県人会長 西村 定栄
在伯愛媛県人会創立60周年記念式典にあたり、福島教団在サンパウロ日本国総領事、母県より竹田祥一県議会議長、県愛媛県海外協会会長と慶祝団の方、ブラジル側からは安部副連理、羽藤ジョージ副議長、野村アメリオ市議と各団体代表の皆様方のご臨席をいただきまして、誠にありがとうございます。ブラジル移民105

チーム「アキア・デ・オウロ」が中村知事以下慶祝団一行を巻き込んで盛り上げる。今度は慶祝

団が「松山名物野球拳」で会場を一つに。「ジャパニーズ・サンパ」に会場は笑いに包まれた。最終プログラムが終了した。

後は知事自らもマイクを持ちカラオケ大会が行われ、午後4時にすべてのプログラムが終了した。

後には、去る2008年の100周年記念式典の折、「愛媛県移民百年のあゆみ」を編集出版いたしました。母県及びブラジル関係各所に送付させていただきます。また、この機会に、1971年より現在に至るまで費留費留学生、技術研修制度の實地を続けさせていただき、これまでに177人がお世話になりました。

学んだ教えや技術すべては、これより先の世代交代に必ず役立たせさせていただきます。ただ、感謝の一言で尽きることはありません。最後に知事をはじめ、ご来賓いただいた皆様方のご健勝とご多幸を祈念し、あいさついたします。

会場を巻き込んでの野球拳

留学生、研修生08・06と慶祝団一行

Cerimônia de 60 anos de fundação da Associação Cultural Ehime Kenjin do Brasil

Intercâmbio cultural tem ligado o Brasil e o Japão.
Esta é a terceira visita do governador da Província a este país.
A cerimônia ocorreu no dia 10 de novembro, às 10 horas, na sede da Associação Hokkaido de Cultura e Assistência.
A comitiva de 35 pessoas, lideradas pelo governador Sr. Tokihiro Nakamura e Presidente da Assembleia Legislativa Sr. Shoichi Takeda, vieram para participar do evento.
350 pessoas estiveram presentes, dentre eles o Deputado Federal Junji Abe, que fez o discurso representando as autoridades da comunidade japonesa, e que fez a entrega de homenagem ao Presidente da Associação Ehime.
Teve várias atrações, tais como o samba do Águia de Ouro, karaokê, samba japonesa, uma dança da cidade de Matsuyama daquela província.